



2017年12月20日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

高効率 CRISPR/Cas9 ノックイン法に関する
非独占ライセンス契約締結のお知らせ

株式会社トランスジェニック(代表取締役社長：福永健司、福岡市)は、高効率 CRISPR/Cas9 ノックイン法に関する特許の日本国内での非独占的使用権について、国立大学法人東京医科歯科大学(学長：吉澤靖之、東京都文京区)とライセンス契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

このたび、実施許諾の対象となった高効率 CRISPR/Cas9 ノックイン法によるゲノム編集技術は、当社が提供している遺伝子改変マウス作製受託において、これまでは難しかった点突然変異の導入や大きなサイズの組換えを、受精卵で効率よく行うことが可能で、CRISPR/Cas9 によるマウス作製受託の適用範囲がさらに拡大するものと考えられます。

当社は、遺伝子改変マウスのパイオニアとして事業展開している中で蓄積された高い技術に加えて、常に最先端の技術導入に積極的に取り組んでおります。今回の契約締結はその一環であり、早期にその実施権を確保し、既存サービスの付加価値を高めるとともに、非臨床試験受託との融合体制を整えることで売上拡大を目指します。

なお、本ライセンス契約の2018年3月期の連結業績への影響はございませんが、ジェノミクス事業における遺伝子改変マウス作製受託のサービス拡充につなげてまいります。

当社製品・サービス：[ゲノム編集技術 \(CRISPR/Cas9\) による遺伝子改変マウス作製](#)

<参考文献>

Cloning-free CRISPR/Cas system facilitates functional cassette knock-in in mice
Tomomi Aida, Keiho Chiyo, Takako Usami, Harumi Ishikubo, Risa Imahashi, Yusaku Wada, Kenji F Tanaka, Tetsushi Sakuma, Takashi Yamamoto and Kohichi Tanaka
Genome Biology (2015) 16:87

<特許>

特許第 6190995 号

◆ご参考： [高効率 CRISPR/Cas9 ノックイン法](#)

CRISPR/Cas9 システムは、バクテリアで見つかった獲得免疫機構です。近年、効率的な標的遺伝子組換えゲノム編集技術として広く応用されるようになりました。

東京医科歯科大学難治疾患研究所分子神経科学分野田中光一教授、相田知海准教授らは、従来のプラスミドあるいは RNA で Cas9 を導入するのではなく、タンパク質として RNA と共に導入することにより、高効率で変異、特にノックインを誘導することを示しました。この方法により、これまでは困難であった長い配列のゲノム中の特定の場所へのノックインが受精卵において可能となります。

以上